

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

学校名	白石町立有明南小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育の実践は校内研究を通して意識が高まっており、継続させたい。</li> <li>・基礎基本の定着や授業改善など、教職員の授業力の向上を図る必要がある。</li> <li>・特別支援教育の視点をもち、一人ひとりに応じた教育活動を推進する必要がある。</li> </ul>
2 学校教育目標	豊かな心をもち よく考え 進んで実践する子どもの育成
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな心を育む道徳教育の実践を図る。</li> <li>・基礎基本の定着や授業改善など、教職員の授業力の向上を図る。</li> <li>・特別支援教育の視点をもち、一人ひとりに応じた教育活動を推進する。</li> </ul>

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全職員による共通理解と共通実践</li> <li>○基礎基本の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師を80%以上を自指す。</li> <li>○OCTで全学年、全国平均を上回る。</li> <li>○県調査で、県平均を上回る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。</li> <li>・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、全教科半分以上の授業で「話し合う活動」を設定する。</li> <li>・中学校のテスト期間に合わせ、「家庭学習がらみばり連間」や、「自学ノートコンテスト」を実施し、家庭学習の充実を図る。</li> </ul>
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童が、自他の生命を尊重する心、豊かな心を身に付ける教育活動</li> <li>◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちをもてる教育活動の推進</li> <li>●いじめの早期発見、早期対応体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をする児童を80%以上にする。</li> <li>◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちがある児童80%以上を目指す。</li> <li>○生活アンケート等で「いやなことをされたり言われたりしない」と回答する児童を90%以上に、「友達と仲良く活動することができる」と回答する児童を80%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和教育や平和教育、命の教育を計画的に実践する。</li> <li>・授業の中で自分の思いや考えを伝え合う場面を設定するとともに、道徳的価値の自覚を図る発問・板書・ワークシートの工夫に取り組み。</li> <li>・年度初め等に道徳教育アセスメントアンケートを1回実施するなどして児童の実態を把握し、指導に生かす。</li> <li>◎キャリアパスポートの活用方法を提示し、活用させる。</li> <li>◎「将来の夢」を年度末に記入し、自分の夢の実現のため、今できることはなにかを考えさせる時間を設ける。</li> <li>・いじめの認知・発覚に対する対応マニュアルの作成・見直しを行い、迅速に対応できるようにする。</li> <li>・いじめに関するアンケートや生活アンケートを2ヶ月に1回程度行い、実態を把握する。</li> <li>・年2回のQ-Uアンケートや教育相談週間を生かす他、日頃の観察等により、実態把握に努め、指導に生かす。</li> </ul>
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「運動習慣の改善や定着化」</li> <li>●「望ましい生活習慣の形成」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業以外で運動やスポーツを1日に30分以上行う児童の割合を、80%以上にする。</li> <li>○早寝の習慣が定着している児童の割合を80%以上。朝ごはんの内容に関心をもつ児童の割合を80%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家間や屋外での外遊びの奨励と働きかけの工夫を委員会活動や学級活動を通して行い、外遊びをよくなる児童とそうでない児童の二極化を防ぐ。</li> <li>・縦割りグループ遊びの奨励を行う。</li> <li>・スポーツチャレンジに全校的に取り組むよう委員会活動で提案する。</li> <li>・望ましい生活習慣の意識づけのため、4月・9月・1月の初めに1週間続けての健康チェックを行う。事前に家庭に便りを出し、朝食の内容にも意識を高めて親子で取り組んでもらう。</li> <li>・担任と栄養教諭または養護教諭がTTで各クラスで授業を行う。</li> </ul>
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●時間外勤務時間について、月45時間と年360時間上限を遵守できるよう校務を遂行する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退勤日・学校閉庁日の設定</li> <li>・教務と連携し、会議や行事を精選・統合し、業務の効率化を推進する。</li> <li>・時間外勤務について定期的に個票を作成し、タイムマネジメントに係る声かけを行い、働き方への職員の意識の醸成を図る。</li> </ul>
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標 (数値目標)	
○特別支援教育の充実	○特別支援教育の視点をもち、一人ひとりに応じた教育活動の推進	○児童の実態を把握し、必要と認められたすべての児童に対して「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」の策定、実施、評価を行う。 ○特別支援に関する専門性が向上したと回答する教員の割合を80%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を必要とする児童について、共通理解を図り、環境作りを含めた指導法の在り方等についての研修を行う。</li> <li>・特別支援学級だけでなく、通常学級の児童にとっても分かりやすいユニバーサルデザインの視点からの授業を実践する。</li> </ul>

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育